

H.I.

「寝相では苦労しましたが、今は大丈夫！」

ぼくが一番いやだったのは、コンタクトレンズをつけた時です。その日までは、どうってことないやと思っていました。

赤坂目医者さんで初めてコンタクトをつけました。最初は係りの人がコンタクトを入れました。次にお母さんが入れたらすごくゴロゴロしました。試しに3時間つけることになっていたのに、外で昼ごはんをマクドナルドで食べることにしました。食べている時も目がゴロゴロしていたけれど外を見たら何でもよく見えました。よく見ると三井先生が昼ごはんを食べに行っているのが見えました。昼ごはんを食べ終わってコンタクトを取るとゴロゴロがなくなりました。

一番検査の機械でいやなのは、目に空気を入れる機械です。今もなかなかできません。

1個目のレンズで0.8ぐらいになって、もっと視力をよくするために2個目のレンズを作ったけど、たまに車の中で取れてしまうので3個目のレンズを作りました。このレンズで視力がすごく上がりました。あと3個目のレンズはゴロゴロしませんでした。

そのほかにいやだったのは、ぼくは寝相がとても悪かったので、寝返りをしにくくするために「首しめ」を使いました。「首しめ」というのはぼくが考えた名前です、本当の名前は「ポリネックソフト」で首をけがした人が使う道具です。なぜそれがいやだったかというと、夜苦しくて「うーうー」うなってしまうからです。だから一日でやめました。だけど視力があがってよかったです。

① レンズをつけて一番やだったのは、
ぼくが一番やだったのは、コンタ
クトレンズをつけた時です。
その日までは、どうってこと
ないやと思っていました。
赤坂目医者さんで始めてコン
タクトをつけました。さいしめは、
かかりの人がコンタクトを入
れました。次にお母さんが入
れた。すごくゴロゴロしました
ためしに3時間つけることにな
っていたので、外で昼ごはんを
マクドナルドで食べることにしま
した。食べている時も目がゴロゴロし
た。コンタクトを取るとゴロゴロが
なくなりました。
「一番けんちのきかいでいやなのは目
に空気を大れるきかいです。今もなか
なかできません。
二個目のレンズで0.8ぐらいになっ
ても、視力をよくするために三
個目のレンズを作りました。たま
に車の中で取れてしまっ
た。ポリネックソフトで首をけがした
人が使う道具です。なぜそれがいや
だったかというと、夜苦しくて「うー
うー」うなってしまうからです。
よかったです。

お母様より

小学校入学前の健康診断の時に、視力の悪いことがわかりました。近所の眼科で0.8位とのことで、目薬（ミドリン）を夜寝る前につけるように言われました。（月1回通院）

1年近く通院しましたが、回復するどころか悪くなり始めましたので、近所の違う眼科に行った所、ワックという目の体操のようなことをする指導を受けました。（1年生の最初の頃）。月に1回の通院と夜寝る前の目薬は以前と同じでした。この時点で視力は0.4位だったと思います。その後、視力は0.5～0.3の間で行ったり来たりで、学校の黒板の字が見えにくいことがたまにあるといい始めました。医者には、以前から眼鏡をすすめられていましたが、主人も私も1度かけてしまうとどうしても度が進んでしまうからとずっと断り続けていました。新聞に入っていたチラシで視力回復センターの事を知り足を運びましたが、「これから成長期ですのでどんどん悪くなります」と言われ、大変ショックで家路についたことは今でも忘れません。その後主人が家庭用の視力回復器（商品名メガトロン）を買い、朝晩、目の体操をさせました。多少安定したように思います。

そして、テレビのニュースでオルソケラトロジーを知りました。大変興味を持ち、通院していた先生にうかがったところ、「話は聞いたことがあるが私はわからない」と言い、レーザーで治療をするところを教えてくださいました。（2年生の秋）。私も主人もレーザー治療は反対でした。その後どうすれば夜間のコンタクトを指導して下さる所を探せばいいのかわからずにいました。ある本にたまたま取り上げているのを発見して、やっとオルソケラトロジーに出会えました。（2年生冬）

その後通院していた所に行くことがあり、オルソケラトロジーのお話をした所、「知ってはいたが目にはよくないと私は思うのですすすめなかった」と言っていました。しかし、大変へたな私の説明ですが、眼の細胞、表面の乾きのこと、コンタクトによる圧力のことを少しお話すると、先生は「以前より興味を持っていたが、安全性のことについてどうしても納得できなかった。これからの経緯を教えてください」と言われました。

家族の中で誰も視力の悪い人はいません。幼児期に、寝る時ベッドに入って寝ながら本を毎日一時間位読み聞かせてしました。その他工作等の細かい作業の時の姿勢をきちんとしませんでした。母親のずばらから視力を悪くしてしまいました。反省しても視力は戻りませんが、子供に本当に悪いことをしてしまったと思っています。でも、今は、多少救われた気持ちになっています。

「大変だったこと」

夏は、子供も暑いので大変寝相が悪くなります。先生から、中心部分の少しへこんだ枕や首につけるコルセットのようなもの等いろいろご指導いただきましたが、全くだめでした。寝相はコンタクトのずれの原因になります。（朝コンタクトがずれているので痛くて目が開けられないと大騒ぎの毎日でした。）夏の間、夜つけられず以前のような不自由な毎日を送っていました。その時はセカンドレンズでしたが、ほとんど使用できませんでした。たまたまその時期主人がエアベッドを買い、使用している時期がありました。子供が主人のベッドで寝てみてもいいかと言い、寝かせた所、あまり移動せずにコンタクトのずれも少なくなりました。しかしずれることには変わりはありません。サードレンズをお願いし、少し大きいものにしました。

（サードにする時、本当にあうものができるのか不安でした。）すると今度は、セカンドの時に起こっていたずれや外れやすい等の心配は全くなり、視力も考えていたよりもあがり、1.2になりました。本人もコンタクトに慣れ、休日などお昼頃まで外すのを忘れるくらいです。

いろいろお手数をおかけします。これからもよろしく願います。

OSEIRT/Ortho-K治療経過表

患者様データ

Name	H.I
Age	12

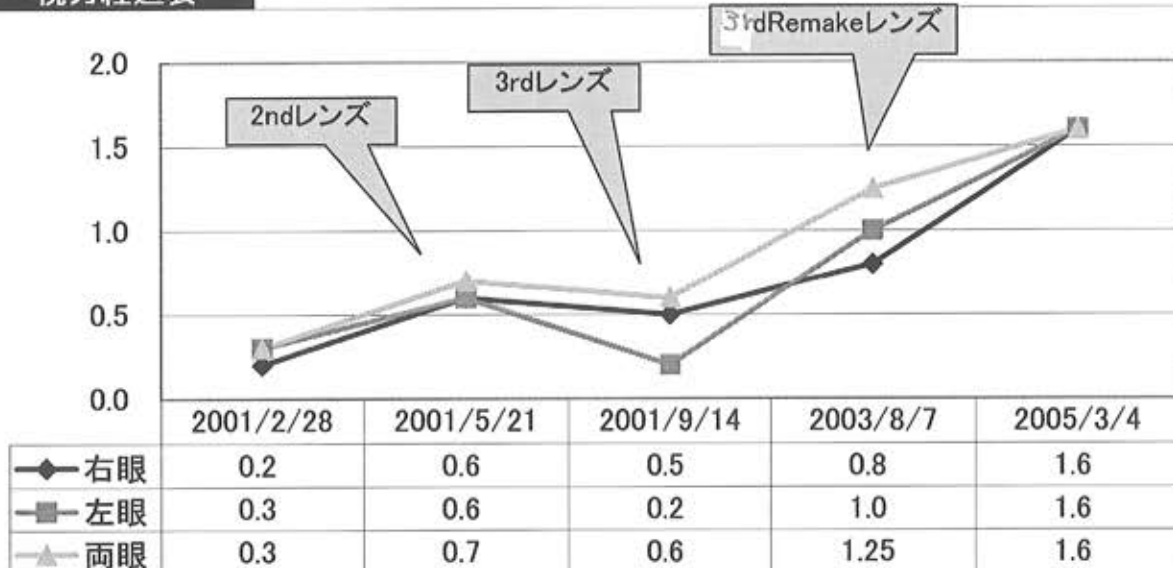
初診検査結果

	視力	屈折異常
右眼	0.4	-2
左眼	0.4	-1.5
両眼	0.5	

治療経過・レンズ変更

2001/1/14 初診(トライアルレンズ装用)
 2001/2/28 1stレンズ開始(Full custom)
 2001/5/21 2ndレンズ開始
 2001/9/14 3rdレンズ開始
 2003/8/7 3rdリメイクレンズ開始

視力経過表



屈折値(近視度)

